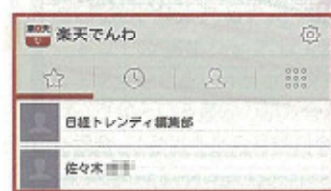


「無料通話リスト」が作れる楽天でんわアプリ

シンプルなインターフェイスが特徴の楽天でんわ専用アプリ。履歴閲覧の他、標準の連絡帳を参照できるなど、標準の電話アプリとしても十分使える。同じキャリアのユーザーなど、そもそも無料通話できる相手をリスト化して通常発信できる他、発信時に楽天でんわの回線を使うかどうかの選択も可能だ。



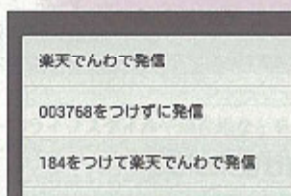
①頻繁に電話をかける相手を登録できる「よく使う項目」。各連絡先の星マークをタップすれば簡単に追加できる



②標準連絡帳の情報を編集可能。メールやBluetoothで送信もできる



③シンプルなインターフェイス。テンキーから番号を入力すると、自動的に「003768」を付加して発信される



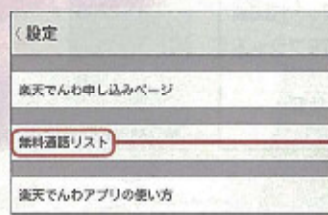
④「楽天でんわで発信」「003768をつけて発信」「184をつけて発信」など発信方法を選べる



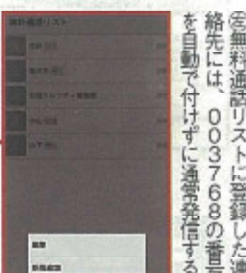
⑤標準の連絡帳を参照できる。グループ表示も可能⑥画面上部で連絡先情報の検索もでき、目的の情報を簡単に探せる



⑦各種履歴。アンドロイドの場合は着信履歴もアプリ内で表示できるため、かかってきた電話に簡単に折り返せる



⑧無料通話リストはメイン画面右上の設定ボタンから登録を行う

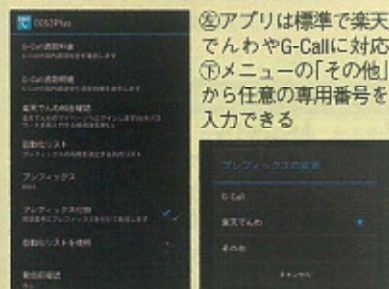


アドレスから相手のキャリアを自動登録できる便利アプリ

楽天でんわやG-Callをさらに便利に使えるアプリが「0063plus 楽天でんわ、G-Call用」だ。例えば、楽天でんわアプリでは無料通話リストを作れるが、登録は意外に面倒。0063plusはメールアドレスから相手のキャリアを判別。無料通話リストなどを簡単に作れる。

⑨専用番号を付加するかどうかなどを細かく設定できる「自動化リスト」

0063plus 楽天でんわ、G-Call用 (150円)
Android



⑩アプリは標準で楽天でんわやG-Callに対応⑪メニューの「その他」から任意の専用番号を入力できる

⑫発信前に番号の確認もできる。無料通話ができる相手にはそのままの番号で発信⑬通常では有料になる相手には専用番号が自動で付加される

どれを選べばいいのか。まず違うのが決済方法だ。どれも基本料は0円。通話しなければ料金はかからない。ただ、LINEはプリペイド決済で、利用する前に料金をチャージしておく必要がある。最も安いのは通話時間と利用期限が決められた「30日プラン」。「固定と携帯宛て60分」が390円、「固定宛て60分」が120円と格安なのが魅力だが、残額は繰り越せず30日以内に使う必要がある。通話した分だけ後から請求される楽天でんわやG-Callとは使い勝手が異なる。実際に使ってみて大きな違いを感じたのが音質だ。楽天でんわやG-Callは、相手先の電話番号の先頭に特別な番号を付けて発信する方式。固定電話の「マイライン」のようなサービスで、通常の電話と同じ回線交換の電話網を経由するのが特徴。そのためか、これまで使っていた通常の電話との違いはほとんど感じられなかった。一方のLINE電話はインターネット(IP網)と回線交換の電話網を経由して通話する仕組みのため、場合によってノイズが入ったり、うまく会話ができないことがあった。

仕組みの違いが音質に出た格好だが、最安で大手キャリアの20分の1というLINE電話の通話料金は大きな魅力。基本料金はかからないので、用途によって使い分けるのも手だ。

楽天でんわとG-Callはサービス内容はほぼ同じだが、通話料金の微妙な差がある。国際回線を使っており、通話料に税金がかからないのはG-Callだ。

楽天でんわとG-Callはサービス内容はほぼ同じだが、通話料金の微妙な差がある。国際回線を使っており、通話料に税金がかからないのはG-Callだ。